能登森林組合だより

第7号

平成27年10月　発行

石川県山林協会主催　第58回石川県育林コンクール（林野庁長官賞）　珠洲市　中沢徳三 氏 所有林

J Forest森林組合綱領　―私たち森林組合のめざすもの―

一．森林（もり）の恵みに感謝し、地域環境保全のため、豊かな森林（もり）を未来に引き継ごう。
一．森林（もり）を守り育て、林業と山村を活性化しよう。
一．J Forest森林組合への積極的な参加によって、協同の力を発揮しよう。
一．自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。
一．協同の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追求しよう。

能登森林組合では、組合員の皆様のご要望に応えられる様、より一層の努力をしていく所存ですので、今後とも宜しくお願い致します。

■編集・発行　能登森林組合

■総　務　部　〒927-0023　石川県鳳珠郡穴水町字麦ヶ浦17字5番地
■本所事業部　TEL 0768-52-0316／FAX 0768-52-8178
E-mail　h-shinrin@hyper.ocn.ne.jp

輪島支所
〒928-0011
輪島市杉平町1字1番地の1
TEL（0768）22-2452
FAX（0768）22-0996
・門前事業所　門前町清水13-6
TEL（0768）42-1312
・木材加工所　山岸町イ-73
TEL（0768）22-9776

能登支所
〒928-0331
能登町字柳田仁部39番地
TEL（0768）76-1231
FAX（0768）76-1230
・宇出津事業所
能登町字宇出津口字151番地
TEL（0768）62-0231

珠洲支所
〒927-1214
珠洲市飯田町7の129番地
TEL（0768）82-0674
FAX（0768）82-6194

平成二十七年度通常総代会開催される

六月十一日（木）午前十時より、能登町柳田開発センターに於いて、平成二十七年度第六回通常総代会が開催されました。

総代会には現在総代数二八三名（欠員一七名）のところ、本人出席者一三六名、書面議決権者一三一名（出席率九四％）が出席されました。

開会に先立ち永年勤続表彰があり、次の方々が表彰を受けました。

○三十年勤続表彰（県知事表彰、県森林組合連合会長表彰）

◇滝平義弘・能登支所長　◇万砂理恵・本所事業課書記

○二十年勤続表彰（県森林組合連合会長表彰）

◇江端辰男・輪島支所課長補佐（門前事業所）

◇泉　健一・本所事業課長補佐

受章された方々の、益々のご活躍をお祈りいたします。

来賓には県奥能登農林総合事務所・津川久孝所長を始め、森林総合研究所金沢水源林整備事務所・小原正人所長、県森林組合連合会・亀井順一郎参事、並びに輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の各担当課長にご臨席頂きました。

坂本明代表理事組合長挨拶の後、ご来賓を代表して津川所長、小原所長及び亀井参事よりご祝辞を頂き、議長に輪島市町野町の元井孝司さんが選出され、議案審議は提出された議案すべて原案通り可決、承認されました。

可決、承認された議案は次の通りです。

第一号議案　平成二十六年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書について

第二号議案　平成二十七年度事業計画設定について

第三号議案　平成二十七年度役員報酬の決定について

第四号議案　平成二十七年度貸付金の最高限度の決定について

第五号議案　平成二十七年度借入金の最高限度の決定について

第六号議案　平成二十七年度余裕金預入先金融機関の決定について

第七号議案　定款及び規程の一部変更について

第八号議案　中期経営計画について

附帯決議

平成26年度　決算報告書
損益計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで（単位：円）

科　目	小　計	合　計
Ⅰ　事業総損益		
1　事業総収益	918,198,304	
2　事業総費用	698,196,572	
事業総利益		220,001,732
Ⅱ　事業損益		
1　人件費	183,367,083	
2　旅費・交通費	625,492	
3　事務費	2,214,781	
4　業務費	3,454,119	
5　諸税負担金	7,435,000	
6　施設費	9,625,508	
7　雑費	729,389	
事業管理費計		207,451,372
事業利益		12,550,360
Ⅲ　経常損益		
1　事業外収益	9,550,142	
2　事業外費用	4,668,123	
事業外損益		4,882,019
経営利益		17,432,379
Ⅳ　特別損益		
1　特別利益	1,437,165	
2　特別損失	8,094,755	
特別損益		△6,657,590
税引前当期純利益		10,774,789
法人税、住民税及び事業税額		872,500
当期剰余金		9,902,289
前期繰越剰余金		5,132,054
当期末処分剰余金		15,034,343

平成27年3月31日現在の貸借対照表は次の通りです。

貸借対照表

（単位：円）

科目	内訳	小計	合計
資産の部			
流動資産			
1 現金		21,757	
2 預金		470,441,597	
3 売掛金	30,284,221		
（貸倒引当金）	356,000	29,928,221	
4 未収金	322,900,170		
（貸倒引当金）	2,155,000	320,745,170	
5 棚卸資産		33,005,952	
6 林産前渡金	1,000,000		
（貸倒引当金）	6,000	994,000	
7 立替金	186,861		
（貸倒引当金）	1,000	185,861	
8 造林勘定		22,332,297	
9 加工勘定		467,500	
10 未収還付法人税		186,089	
11 仮払金		30,000	
12 雑資産		4,489,977	
流動資産合計			882,828,421
固定資産			
有形固定資産			
1 建物	177,358,427		
減価償却累計額	139,697,366	37,661,061	
2 構築物	24,765,115		
減価償却累計額	20,013,305	4,751,810	
3 機械装置	131,881,942		
減価償却累計額	112,029,557	19,852,385	
4 車両運搬具	46,266,496		
減価償却累計額	42,653,799	3,612,697	
5 工器具備品	10,787,559		
減価償却累計額	10,214,896	572,663	
6 土地	96,111,747	96,111,747	
7 森林			
(1) 所有林	27,715,525		
(2) 分収林	6,690,175	34,405,700	
8 リース資産	23,628,000		
減価償却累計額	13,079,100	10,548,900	
9 一括償却資産	190,476		
減価償却累計額	63,492	126,984	
有形固定資産合計			207,643,947
無形固定資産			
1 電話加入権		772,493	
2 ソフトウエア	13,168,333		
減価償却累計額	9,856,999	3,311,334	
無形固定資産合計			4,083,827
外部出資その他の資産			
外部出資			
1 系統出資金		89,120,000	
2 系統外出資金	66,156,000		
外部出資等損失引当金	7,790,400	58,365,600	
外部出資合計		147,485,600	
その他固定資産			
1 農林漁業貸付金			
(1) 造林貸付金	31,671,247		
(2) 林経貸付金	1,000,000		
（貸倒引当金）	227,000	32,444,247	
2 長期貸付金	3,500,000		
（貸倒引当金）	1,144,000	2,356,000	
外部出資その他の資産合計			182,285,847
固定資産合計			394,013,621
資産合計			1,276,842,042

科目	内訳	小計	合計
負債の部			
流動負債			
1 買掛金		6,078,086	
2 未払金		38,954,568	
3 未払消費税		13,809,000	
4 前受金		8,375,200	
5 預り金		36,239,738	
6 未払法人税等		872,500	
流動負債合計			104,329,092
固定負債			
1 農林漁業借入金			
(1) 造林借入金			
(2) 林経借入金	31,671,247		
2 退職給付引当金	1,000,000	32,671,247	
3 長期未払金		15,093,535	
		11,283,825	
固定負債合計			59,048,607
負債合計			163,377,699
純資産の部			
組合員資本			
1 出資金			559,830,000
2 利益剰余金			
法定準備金		236,940,000	
その他の利益剰余金			
特別積立金		301,660,000	
当期未処分剰余金			
当期剰余金	9,902,289		
前期繰越剰余金	5,132,054	15,034,343	553,634,343
組合員資本合計			1,113,464,343
純資産合計			1,113,464,343
負債・純資産合計			1,276,842,042

お知らせ

出資配当は一・〇%です

平成二十六年度決算に基づく出資配当金は、組合員皆さんの御協力によりまして、一・〇%の配当をすることが総代会で決議されました。配当金の支払いは、出資金一〇万円以上の方については現金振込で支払い、以下の方については出資予約預かりとさせて頂きます。

出資配当金支払明細書について

能登森林組合では、出資証券の交付は致しませんので、本誌に同封の出資配当金支払明細で出資金額及び配当額を確認して下さい。

名義変更手続きをお願いします

手続きは本所、各支所で受付します。

◇相続の場合

相続加入手続きとなり、組合員であるご家族が死亡されてから、一〇ヶ月以内。

・相続人が確定し、登記された時点。

・登記前の場合は、相続人の分割協議等を証する種類が必要です。

※一〇ヶ月以上経過している場合は、手続きが違ってきますので、組合にお問合せ下さい。

各支所の取り組み

穴水地区の取り組み

穴水管内では森林経営計画に基づき利用間伐・環境間伐等を提案し、直営作業班と協力事業体の協力を得ながら事業に取り組んでいますが、利用間伐の施業が遅れているのが現状です。

森林整備を実施する事により自分の山林管理の不安（境界の不明瞭など）も解決の糸口になるのではないでしょうか。

また以前に開設した作業路・集材路に草木が繁茂し、荒れ放題になっていませんか?、森林整備を行う事によって、路線の維持管理、更に森林整備作業の効率化にもつながります。

もう一度、自分の山林に目を向けて頂き、お気軽に相談下さい。

車両走行が困難な状態の作業路（写真上下）

輪島支所の取り組み

当支所は、造林事業と加工事業を実施しています。

造林事業は主に利用間伐を行い、能登木材総合センターをはじめとして、径級別に出荷先用途に応じて選別を行い、組合員の皆様に少しでも多く木材代金を還元できるよう鋭意努力をしています。近況では、管内の能越自動車道・外浦北部道の路線形伐採工事等も実施しています。

加工事業では、五月に小松市で開催された全国植樹祭に使用されたベンチ椅子を作成し納入させていただきました。また、里山海道沿線の防風柵用丸棒を一万本・「道の駅高松」・「白山白川郷ホワイトロード」に名称看板や転落防止柵を納品し、間伐等の伐採生産から、加工・販売と一連の工程で、コストの低減を図っています。

能登支所の取り組み

平成二十四年四月より集約化施業を基本とした森林経営計画が運用されてから三年が経過し、集約化施業の効果が組合員の皆様に目に見える形となってきています。これも偏に組合員の皆さんのご理解とご協力あっての事と深く感謝申し上げます。

平成二十七年度の能登支所の取組みと致しましては、安定した利用間伐の推進を重点に間伐事業地の集約化を強化出来る様、四十六ヘクタール・三四八〇㎥の搬出材積を計画しています。

また座談会等、組合員の皆様から要望の多かった高齢級のコナラ等の更新伐は一六ヘクタール・二三九〇㎥の搬出材積を計画し、合計で六二ヘクタール・五八七〇㎥の搬出材積を見込んでおります。

また組合員の皆様に、より一層間伐施業をわかりやすくご理解頂くために、四名の森林施業プランナーが認定登録を受けております。「自分の山の整備をしたいのだが、どうすれば良いのか?」等々、お気軽にご相談・ご連絡いただければ、今出来る施業等の提案をさせて頂きますので、今後ともご協力を賜ります様よろしくお願い致します。

珠洲支所の取り組み

珠洲支所管内の特色であるアカマツ林で、松くい虫の被害が増加しています。平成二十四年度までの年間被害量は、百㎥未満で推移していましたが、現在は千㎥を超えています。伐倒駆除及び防除事業量は増えていますが、まだまだ被害の現状に追いついていません。更新伐等の森林整備を積極的に進めたいのですが、マツ材の安値、マツタケ採取山林等の事業展開上のマイナス要素があり、ジレンマを感じています。

もう一つの特色は、新植事業の拡大です。宝立町の小屋ダム周辺の地域で、水源林の造成を実施しており水源かん養機能の維持に努めています。

されど、主たる事業は間伐です。森林経営計画をスムーズに実施する為、集約化、境界明確化の推進に更なるご協力をお願い致します。

また、懸念材料としては労働力の不足が挙げられますが、労働条件を向上させ、安定した事業展開を目標としています。

ご要望等がありましたら、なんなりとお問い合わせください。

珠洲市で開催された緑の少年団活動（アカゲラの巣箱作り）

第3回総代選挙執行による新総代就任される

平成二十七年六月二十三日に総代選挙が執行され、新たな総代が選出されました。候補者の受付は六月十二日から六月十四日締切で実施し、全選挙区において定数と候補者が同数であったため、投票を行わず三〇〇名の当選が確定しました。（任期：平成二十七年七月一日より三年間）

新たに就任された総代の方々は次の通りです。

【順不同】

第1区（穴水1）11名
三輪栄嗣　堂前勇次郎　泉　建夫　岩田正樹　中出水剛　今町貞夫　堂ヶ口光夫　浦口謙一
森田二三男　嶽　寛士　近藤文隆

第2区（穴水2）10名
葭原義照　布施順子　東　潮　清滝　龍　上口成勝　山口栄進　湯口太保　小深田隆造
中橋龍三　白坂政治

第3区（穴水3）15名
高宮佐和夫　勝本秀雄　吉田久一　松本　弥　池野弘作　大沢利雄　万年正司　大西良永
室谷正光　三井邦彦　中田芳夫　木下　等　松下幸治　大坊俊治　濱出邦彦

第4区（門前1）19名
木場正彦　大作哲男　山本秀夫　森本　巌　森倉正信　宮下正賢　平岡　紘　皆川隆夫
宮本正樹　盤若　尚　坊　藤吉　上岡克彦　表　庄三　竹田義夫　梅村昭十郎　大泉　豊
中田辰衛　山本清道　堀　寛

第5区（門前2）17名
横田直之　山形信一　浦島正一　西村信吉　六田明憲　松田清治　中町心一　山下　覺
岡本和良　判田良樹　松岡茂喜　山下敏夫　宮本修作　中野武一　舘　實　川端正一郎
松本太郎三郎

第6区（柳田1）16名
青木登美男　中山義一　五田秀綱　堀田秀男　近田幸雄　棚田昭男　畠中一雄　川崎時夫
池田光正　根畑　博　石田源志郎　高市範幸　深見　繁　佐野禎宣　玉木彰夫　福池正人

第7区（柳田2）20名
山岸昭夫　二又淳行　廣橋義男　有手義一　古谷利夫　畑中栄淳　古谷照明　与野井久雄
坂尻正典　井田満雄　広瀬数夫　高村秀雄　大谷内良一　倉　久平　山根義昭　高哲太郎
道下良一　福池和廣　上野満雄　羽佐間裕

第8区（能都1）11名
宮下重秋　田中利夫　山下白徳　水　勝男　小路武雄　小城幸隆　平谷幸作　乙川政信
中間一吉　濱野栄樹　田崎進一

第9区（能都2）11名
市尾文男　廣田良祐　東　靖夫　道下重信　山岸長平　猪子外男　藤原恵造　町中　衛
木下喜治　上野長次郎　中田　亨

第六十回　石川県山林大会被表彰者

平成二十七年八月二十七日（木）石川県立音楽堂（金沢市）において、第六十回石川県山林大会が開催され、能登森林組合管内で次の方々が栄えある表彰を受けられました。

1．林業功労者

石川県山林協会長賞

［特用林産物の振興］

◇松本　正（輪島市町野町）

2．育林コンクール

林野庁長官賞

［スギ43年生］

◇中沢　徳三（珠洲市正院町）

石川県山林協会長賞

［スギ・アテ47年生］

◇四十沢賢治（輪島市堀町）

［スギ48年生］

◇尾上　照雄（能登町時長）

役員の退任

◇辞任（平成27年9月15日付）

［選挙区・第10区］

理事　谷内與三郎

第10区（能都3）14名

川上政行　山下国昭　井上　茂　中口博幸　上端信正　向井豊一　福塚政夫　新田　豊

第11区（内浦）18名

船山　茂　平　茂夫　松木松雄　多田喜一郎　福井　繁　坂本昭勝

田畠信夫　小原良劾　表　与一　谷　良治　川端義雄　山岸徳治　浜崎清二　奥成正気

小路政敏　水滝正博　菊田俊夫　小正　勲　小蔵久一　尾上照雄　花畑壽一　名竹英治

吉谷忠孝　背戸　清

第12区（輪島1）17名

吉田順治　大根　忠　新谷長生　坂下　悟　表　助栄　橋本豊次　山﨑隆彦　今牛喜久雄

道端しづえ　山下竹正　坂本昭信　浅窪興三　皆森　斎　古坊哲男　高林良明　柿木　実

林登茂栄

第13区（輪島2）9名

新出　勝　上野吉夫　東　幸男　池端　晃　安津久人　上　清　北間勝弘　荒田正人

隅　一夫

第14区（輪島3）11名

天野利昭　源代　清　浦　正利　谷内公司郎　中町弘茂　山本一雄　中谷内稔　河原源作

山下　悟　八木俊雄　尾形成雄

第15区（輪島4）13名

高　幸夫　上野正剛　榎木　茂　高森　茂　北川義雄　干場三蔵　小上坊登　多賀　務

中崎克彦　坂本憲秋　古原昭治　万砂貞雄　坂本正一

第16区（輪島5）10名

河原孝一　大森勇造　岩崎二千雄　中山正彦　東市太郎　今寺研治　中島伸一　橋爪政春

河本義雄　日裏利久

第17区（輪島6）18名

鋪　勝正　岡崎　宏　中谷正造　松本　正　一二三隆泉　南　栄策　昇作　隆　高出修次

井池光信　宮本千津子　岡田行雄　実法　進　元井孝司　梅下利雄　往友惣二郎　林　博行

高野　皓　鳥毛宗孝

第18区（珠洲1）14名

細田佐兵衛　井窪一郎　木下俊治　柳瀬俊男　福島雅夫　佐小田淳一　中新地正博　小林信忠

石尾司郎　稲垣鍵一　地原幹夫　濱田惠二　前田　實　岩崎　清

第19区（珠洲2）14名

河原　勝　風巻壽男　畑仲政男　櫻井清一郎　大浜博文　刀禰宏三郎　下谷孝一　團子石安喜雄

村元優文　前　正吉　兵吾万吉　坂本充夫　皆口和寛　上野武守

第20区（珠洲3）14名

岸田與八　正司恵造　為川　昇　井林孝夫　木下満晴　西谷安司　山元喜久男　堺井茂男

莚田彰治　田中　實　小高井弘一　兼政紀夫　下祢鐵郎　向雄二郎

第21区（珠洲4）18名

神田淳一　北濱百千男　南　晴夫　浜野重吉　宮本秀男　坂谷　茂　中　賢一　柚　利男

小坂一平　新　工一　尾倉泰雄　端根　毅　堂ヶ平智　山岸順一　頼光孝一　榎木松夫

谷内　勇　友貞政雄

事動人異

定期の人事異動により、職員の配置が変わりましたのでお知らせします。

本所

参事　瀬例　敏之

[総務部]

部長（兼課長）　細田　哲夫

係長　吉村美代子

書記　神崎　智子

書記　山本　康代

[事業部]

部長（兼課長）　中本　幸夫

書記　万砂　理恵

[穴水担当]

課長　森谷三代一

課長補佐　泉　健一

書記　平岡美代子

書記　古倉　陽子

[門前事業所]

課長補佐　江端　辰男

係長　竹田　正平

書記　表　啓子

参与　飛岡　穣

能登支所

支所長　滝平　義弘

課長補佐　槻　繁治

技師　藤村　真行

技師　石川　裕弥

技師　名竹　和規

書記　安宅まゆみ

書記　高木　明美

[宇出津事業所]

書記　山本真木子

参与　尻田　武

輪島支所

支所長　高　一郎

課長　春木　正司

課長補佐　坂本　博秋

課長補佐　谷　昌俊

係長　田中　亨英

技師　出口　光広

書記　山下　千秋

珠洲支所

支所長　山崎　浩伸

課長　古坊　勝利

技師　中　俊裕

技師　岡本　純

書記　太佐　美佳

『一県一組合構想』について

森林組合を取巻く状況と果すべき役割・今後何をすべきかについて、県内四組合と県森連が昨年七月から今年四月にかけて「森林組合改革会議」を設置し協議をかさねてきました。

その内容については、新聞報道でご存知かと思いますが、県下民有林二五万ヘクタールのうち約八割を占める森林組合員が所有する資源を統括することで、販売経路を模索し効率的な搬出販売を行い、売上金額の増収を図る事が最大の目標であり課題ともなっています。県産材の年間生産量三〇万㎥達成が急務とされる中、林家の皆伐林業収入『一ヘクタール当たり五百万円』の目標を実現化するにはどうすべきかの協議等を計八回実施し、大きな方向性として一県一組合の構想に至りました。

今回の合併の主旨は、経営の合理化やリストラなどを目的とするのではなく、森林所有者の所得向上を最大の目的としています。

今年七月から「合併研究会」を立ち上げて、九月現在で二回が開催され十二月までに計六回の研究協議をする事としています。

内容については、合併に伴うメリット・デメリットを中心に協議を行い、組合員にとってより良い方向性を見出して参りたいと思います。今後の展開については随時、組合員の皆様に報告致します。

◇今回の合併に於けるメリット要因は

①森林経営計画を基に計画的に現場を施工管理し、効率的実施により経費削減を図り、組合員への利益還元に繋がる。

②合併することで指揮管理を統括し、材の生産量を調整する事により安定した材価の確保に繋がる。

いしかわ森林環境税事業の推進について

手入れ不足人工林の整備を所有者負担なしで実施します！

○強度間伐［平成26年度は229haを実施］

平成23年度までの5年間で県内の約1万㌶において強度間伐を実施しましたが、未だ多くの手入れ不足人工林が残されており、引き続き平成24年度からの5年間で整備を行うこととしています。

●過密化し、下草も生えない手入れ不足人工林（水を蓄える力が低下し、土砂災害が起こりやすい）

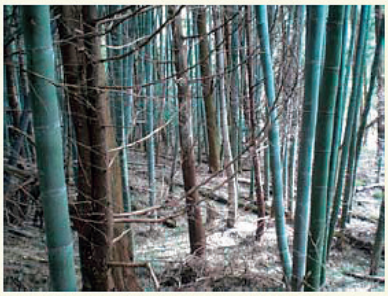
●強度間伐後4年経過した人工林（林内が明るく下草や広葉樹が育ちつつある健全な森林）

◆平成28年度で第二期が終了します。この期に完全実施しましょう！

○侵入竹の除去［平成26年度は92haを実施］

近年、竹林の管理放棄に伴い周辺森林へ竹の生育区域が拡大しており、手入れ不足人工林に竹の侵入が見られます。このような場合、手入れ不足人工林にさらに竹が密集し、林内が暗くなり、森林の公益的機能が一層低下することとなります。

そこで平成24年度から、手入れ不足人工林に侵入した竹と、その発生源となる放置竹林を併せて除去することとしています。



●竹が侵入した手入れ不足人工林

◆協定締結分のみの実施となります。詳しくは組合事業担当者まで問合せ願います。